

南無阿弥陀仏は  
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>  
発行人 脇阪 義幸  
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



## 便利な世の中

たかだか三十年ほどしか生きていない私が言うのもおこがましいが、本当に便利な世の中になった。今や家電製品が喋るのは当たり前、車は自動運転機能が搭載され、ハンドルを握らなくても勝手に運転してくれる。子どもの頃に見た映画の世界が、現実のものになろうとしている。

先日、あるご門徒がパソコンの具合が悪いので見て欲しいと相談にいられた。私自身、昔から興味のある分野なので二つ返事で引き受けた。しかしいざ調べてみると、さっぱりわからない。私の持っていた知識はすでに時代遅れとなっていたのだ。結局「サポート窓口」に電話をして、悪戦苦闘すること二時間、なんとか直すことができた。その時、そのご門徒が「便利になったのか、不便になったのかわからないね」と、ぼつりと呟かれたのが印象的だった。

私たち人間は便利を追い求め、確かに便利な世の中になった。しかしその反面、何か悩みや問題が起これば、知人や友人に相談するより、まずインターネットから探してきた顔も名前も知らない人の言葉に耳を傾け信用する。決して溢れている情報が悪なのではない。自分が得た情報や知識に執着し、人との関わりを必要としなくなる。そういう私の在り方を、仏教では悪として明らかにしてきた。

今更、この便利で快適な環境を捨て去って、昔の生活に舞い戻ることはできないであろう。便利な世の中になってきたからこそ、私たちの罪深い生き方がかえって浮き彫りになってきているように思う。今こそ、我が身に眼を向けるチャンスが到来しているのではないだろうか。

(蓮井 邦宗 記)





## 「西徳寺 一代墓地」新設置のご案内



この度、以前より多数頂いておりました門信徒皆様方のご要望にお応えするため

「新形式」の墓地「**西徳寺 一代墓地**」を新設する事になりました。

この墓地は「**一代限りの墓地使用**」ができる新制度の墓地です。

要項は下記の通りであります、詳しいことや個別事情もお気軽にお問い合わせ下さい。

尚、従前通りの「永代使用墓地」・「蓮華堂」(仏壇付き納骨所)も

少数基のご案内ができますので、併せてご照会下さい。

☆一号地内に見本の「一代墓地」を設置しておりますのでご参考下さい。



### 記

1. 一代墓地使用冥加金      ￥100万 (標準一代墓地専用墓石費をふくむ)  
(別途費用で、注文墓石も可能です)
- 【内訳】

|      |            |            |              |
|------|------------|------------|--------------|
| 使用料  | ￥50万       | / 墓地管理料    | ￥15万 (10年分)  |
| 維持会費 | ￥5万 (10年分) | / 永代供養廟納骨料 | ￥30万 (一体につき) |
2. 一代墓地設置基数      10基 (外墓地 一号地)
3. 使用期間      10年間 (更新可 最長20年)
4. 永代使用墓地への切替      一代墓地の契約後又は更新後に「永代使用墓地」  
「蓮華堂」に変換することができます。  
(冥加金￥250万より)
5. その他      詳細については、一代墓地契約書によります。

以上



# 親鸞さんのことば

真宗の教行証を敬信して、  
特に如来の恩徳の深きことを知んぬ。  
斯を以て、聞く所を慶び、獲る所を嘆ずるなり。  
顕真実教一 顕真実行二 顕真実信三  
顕真実証四 顕真実土五 顕化身土六  
『教行信証』総序  
松井憲一

前号の「遇い難くして今遇うことを得たり。聞き難くして已に聞くことを得たり」をうけて、親鸞聖人は、「真宗の教行証をこころから敬い信じて、ことに如来の恩徳の深いことをあきらかに知ることができた。このことをもって、聞けたところを慶び、獲られたところを嘆め讃えるのです」といわれます。

われらが、日ごろ敬っているのは、「町医者」の結果に不満。もう一軒「延命は 不要と書いて 医者通い」こりもせず。今度は孫に高望みというような、矛盾した白我関心の満足ばかりです。自己中心の欲望(教・おもい)がふくらめば(行・おこなう)、食事の時さえ食が

不味くなるような出来事(証・あかし)ばかりがふえることになりましょう。そうした、自分中心の教行証で迷っているあり方の根に、真実に帰そうとはたらいっているのが、真宗の教行証なのです。

だから、「真宗の教行証を敬信して」という敬信は、自分の思いや蓄えた知識の信ではありません。自分の思いや知識は、なに一つ間に合わなかったと、如来の教えに出遇ってひっくりかえされた信のことです。それで、その信の内容は「特に如来の恩徳の深きことを知んぬ」となるのです。如来の恩徳の深き事実が知らされると、「聞く人が 私一人で 帰れない」という関係にもゆとりがでて「聞かされる ほうがマシかと 愚痴を聞く」と愚痴を聞くこともでき、草取りにも「ごめんねと 庭に花咲く草を抜く」と癒癒の くがぬけたなら 感謝です」という領きにもなるのでしよう。

この如来の恩徳への感動は、「斯を以て、聞く所を慶び、獲る所を嘆ずるなり」と、教えに出遇って応えていく姿となって現れます。その一つは、自己満足の慶びではなく、真宗の教行証を敬い信じることが

できた慶び、「聞く所を慶び」といわれます。もう一つは、「獲る所を嘆ずるなり」と、遇うことができた教えをご縁のある方々にお伝えすることといわれます。こうして、如来の恩徳の出遇いを慶び讃える生活がはじまるのです。

そこで、如来の恩徳の仏道をあきらかにする順序を「顕真実教一 顕真実行二 顕真実信三 顕真実証四 顕真実土五 顕化身土六」と示されます。

「顕真実教一」の教えは、われらのために出られたお釈迦さまの本意に出遇うことです。「顕真実行二」の行は、われらの思いです。行ではなく、諸々の仏たちが南無阿彌陀仏と讃えてくださる行のことです。「顕真実信三」の信は、われらの思いで信じるのではなく、如来の願いに目覚めた疑いのほれたところです。「顕真実証四」の証は、われらの心証ではなく、如来のはたらきのなかに生きる身、必ず仏となる身のあかしをいただくことです。

この真宗の救いの世界を、真仏土と化身土に分けて教えられます。「顕真実土五」の真仏土は、如来が私たちを摂め取ってくださる光明

の世界、「顕化身土六」の化身土は、迷いのわれらを如来が再教育してくださる方便の世界です。

なかでも「顕真実行二・顕真実信三」の順序は、信じて行じるといわれる発想を突破する、如来の本願がはたらく行において信をいただく、「ただ念仏」の浄土真宗の独自の教えが示されます。こうして教・行・信・証という如来の呼びかけに南無阿彌陀仏と頭が下がれば、誰でも真仏土・化身土という如来のはたらきのなかを生きることができると教えられて、「総序」を結ばれるのです。





# 葉言の門山

## 五輪の輪は<sup>わ</sup>蘇に通ず

あまり見かけないこの字は、聖徳太子ご制作の、『十七条憲法』の中にある「和を以て尊し」の「和」の旧字。太子ご使用の文字と教わる。和楽器、笙・箏の象形文字からきていると言う。本来、和音(宮・商・角・徴・羽)の五音階。宮と商を同時に奏でると不協和音を醸し出すと聞かされている。

親鸞聖人のご和讃に

清風宝樹をふくときは

いつつの音声いだしつつ

宮商和して自然なり

清浄勲を礼すべし

と表しておられる。我々の住む娑婆では好きだ嫌いだ、損だ徳だ、裏切られた、そんなはずではなかったとぎすぎすする毎口。雑音だらけ。宮・商同居の娑婆世界だ。その中に和する世界が生まれるとはどういう仰せであらうか。

目下、わが国で関心事の話題は妥協のあり得ない自力の極限を競う地球規模のオリンピック。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オーストラリアの五輪の輪、政治と国政が絡みやすい民族祭典のオリンピック、宮・商和す世界が果たしてありうるのだろうか。因みに、二月二十二日は聖徳太子の祥月命日である。

(大谷 義博 記)

### 【訂正とお詫び】

『えこお』平成30年1月号「仏教青年会報恩講」におきまして、「高野山での修行」と記載いたしましたが、「永平寺での修行」の誤りです。訂正してお詫び致します。

(仲井 真裕)





## 第340号

婦人会専用口座：  
名義 西徳寺婦人会  
番号 10030 239 82431

### ～法語カレンダーに聞く～ (2017年12月)

#### 「弥陀の回向の御名なれば 功德は十方にみちたまう」

最近、妊娠八ヶ月を迎える妻との話題の中心は、生まれてくる子どもに付ける名前をどうするかということである。使いたい漢字や込めたい願いが多すぎて、なかなか決まらない。さらには姓名判断という厄介なフィルターに引っかかり、何度も何度も振り出しに戻る始末である。

決して姓名判断が悪いわけではない。得た情報に執着し、その知識が間違いないと絶対化してしまう私たちの在り方が問題なのである。「名は体を表す」ということわざがあるが、名前が全てではなく、生まれてから死ぬまでの間に遭遇さまざまな縁によって、私たちの生き方が形成されていくのではないだろうか。その中の一つの大きな縁として名前があるのではないかと思う。

生まれてくる子を通して、あらためて自分のいのちが、数え切れない多くのはたらきによって支えられ成り立っていることを教えられる。南無阿弥陀仏の名号は、名前の善し悪しに固執している私の眼を翻し、与えられたいのちの背景に気づけとよびかけ続ける如来の叫びではないだろうか。

(蓮井 邦宗)

### 次回聞法会のご案内

日時 平成30年3月14日(水) 午後1時30分～  
場所 西徳寺 星月の間  
法話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)  
「本願をききて疑うところなきを聞というなり」(『一念多念文意』)  
最高顧問 大谷 義博  
蓮井 邦宗

### ひとこと

清水寺の森管主様から「犬守」という二文字の色紙をいただきました。中国の小学学習書に「犬は家の門を守り、鶏は時を告げて朝を知らせてくれる、蜂蜜は云々」とあり、動物は忠実にその本分を務めているのに、人間は学ぶ意欲をとかく失いがちだとあり、自戒したいと卓上にこの色紙を掲げています。

私は1月15日から一週間、能楽師安田登先生、浪曲師玉川奈々福さん六名の伝統文化交流訪中団に参加して北京、上海、蘇州に行ってきました。楽しかった旅のお話は次回お会いした時にお伝えしましょう。婦人会聞法会でお待ちしております。

(大谷 たつ)

### 婦人会員募集

婦人会では新会員の募集をしております。ご婦人の方で興味のある方ならどなたでも結構です。是非一度ご参加ください。

### 年会費納入のお願い

当婦人会は会員の皆様の会費によって運営されております。年会費(3,000円)の納入を、何卒よろしくお願い致します。



# 掲示板

平成30年 2月

|                |                        |
|----------------|------------------------|
| 4日(日) 午後2時     | 城東ブロック会間法会(平井・はなの舞)    |
| 10日(土) 午後6時    | 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 蓮井 邦宗 |
| 17日(土) 午後1時半   | 定例間法会                  |
| 午後3時15分        | 混声合唱団「エコー」練習           |
| 18日(日) 午後2時    | 城南ブロック会間法会(馬込・東京イン)    |
| 21日(水) 午後1時半   | 婦人会間法会                 |
| 22日(木) 午後1時半   | 『歎異抄』に聞く 講師 宗正元師       |
| 24日(土) 午後3時15分 | 混声合唱団「エコー」練習・新年会       |
| 午後6時           | 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 仲井 真裕 |
| 27日(火) 午後7時    | 仏教青年会座談会               |



## 日誌

|            |                     |
|------------|---------------------|
| 12月13日     | 婦人会間法会・せんねん灸体験会     |
| 12月15日     | 合唱団主催オペラ鑑賞会(参加者19名) |
| 12月16日     | 定例間法会               |
| 12月20日     | 『歎異抄』に聞く 講師 宗正元師    |
| 12月27日・28日 | 宗祖忌                 |
| 12月31日     | 歳暮法要(参詣者約10名)       |
| 1月1日       | 修正会(参詣者約30名)        |
| 1月7日       | 婦人会新年会(参加者約30名)     |
| 1月7日・8日    | 中興忌                 |

## えこお志お礼

|       |         |
|-------|---------|
| 大阪府   | 光明寺 様   |
| 大和市   | 齊藤 祐三 様 |
| 新潟県   | 横山 淑子 様 |
| 新潟県   | 廣澤 晃隆 様 |
| 久喜市   | 伴野 典子 様 |
| ふじみ野市 | 田中 達男 様 |
| 群馬県   | 吉田 一蓮 様 |

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



## 編集後記

近年、家族だけで勤める葬儀が増えている中、身内だけで40名が参列した葬儀にお参りさせていただきました。日頃から親戚付き合いが盛んなご家族で、その基盤をつくったのは6年前に亡くなった母親の存在でありました。

親族が疎遠になり、面識のない血縁者がいることも珍しくない世の中にあって、人間のいのちは様々な出遇いによって生み出されたものであると感じさせていただきご縁となりました。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

<http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。  
(メールでも結構です)

[saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)